

災害にレジリエントな社会をめざして

—男女共同参画と災害・復興ネットワークの10年

開催日 2021年12月11日(土) 15:30~18:30

Zoom オンライン開催 (参加費無料)



…プログラム…

第1部 男女共同参画と災害・復興ネットワーク(JWNDRR)からのリレー報告

「東日本大震災から10年 私たちは何をめざしたのか」

報告者/堂本暁子、船橋邦子、田中由美子、青木玲子、村松泰子

コメンテーター/高根鈴代

《 休憩 国内外からのビデオメッセージ 》

第2部 被災地からの報告

◇「外国籍の人たちと避難所をともにする—熊本地震の経験から」

安部美和さん(熊本大学 熊本創生推進機構)

◇「男性の視点から見た災害にレジリエントなコミュニティの形成」

天野和彦さん(福島大学 うつくしまふくしま未来支援センター)

◇「被災当事者として、今、意思決定の場から考えること—九州北部豪雨の経験から」

中嶋玲子さん(福岡県議会議員)

第3部 パネルディスカッション

「災害にレジリエントな社会をめざして—ジェンダーと多様性の視点から」

★申込方法 ⇒ NWEC ホームページ

(https://www.nwec.jp/event/training/g_forum2021.html)
から「NWEC フォーラム2021」特設サイトにアクセスし、
フォーラムへの参加登録をした後、当ワークショップの参加申込
ボタンをクリックしてください。(受付期間 11/24~12/3)



【主催・問合せ】男女共同参画と災害・復興ネットワーク(JWNDRR)

E-mail: saigai.gender@gmail.com

【共催】公益財団法人日本女性学習財団(JAWE)、主婦連合会
防災・減災日本CSOネットワーク(JCC-DRR)

—参加者へのメッセージ—

2011年3月に発生した東日本大震災では、女性や障害者、高齢者など、社会的に困難な状況におかれた多くの人々が、十分に声を上げることができませんでした。他方で、危機をチャンスに変えるために、新たな女性グループが生まれ、女性リーダーのもと、災害からの復興が進められてきた地域もあります。

全国の市民団体や個人が立ち上がり、男女共同参画と災害・復興ネットワークが形成されてから10年の歳月が経ちました。仙台防災枠組、SDGsの目標達成までには、あと10年しかありません。これまでの10年間を振り返り、災害にレジリエントな社会をつくるためにいっしょに考えてみませんか。

第2部パネリストのプロフィール



安部 美和さん(熊本大学熊本創生推進機構 准教授)

愛媛県今治市出身。関西大学社会的信頼システム創生センターを経て、2012年より現職。

2016年の熊本地震では学生と一緒に熊本大学黒髪体育館の避難所運営にあたるとともに、熊本大学復興プロジェクトの復興ボランティア活動支援プロジェクトリーダーとして復興支援に従事。京都大学大学院地球環境学舎博士課程修了。



天野 和彦さん
(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授)

福島県会津若松市出身。専門は災害社会学。2017年より現職。東日本大震災、東京電力福島第一原発事故に際し、約2,500人の被災者を受け入れ、福島県内最大規模といわれた「ビッグパレットふくしま避難所」の県庁運営支援チーム責任者として運営に携わり、「おたがいさまセンター」などを通じ地域防災に関わってきた。一般社団法人ふくしま連携復興センター 代表理事。福島大学大学院地域政策科学研究科修了。



中嶋 玲子さん(福岡県議会議員)

結婚を機に農業に従事。2019年から現職。

1991年に福岡県女性農村アドバイザーに認定され、1995年から旧枇木町(現朝倉市)町議会議員、2002年に枇木町長選に当選し、九州初の女性町長となる。福岡県男女共同参画センターあすばる館長、一般社団法人バサロ利用組合理事長、福岡県男女共同参画審議会委員、NPO法人住みよいあさくらをめざす風おこしの会理事長を歴任。福岡県人権問題講師団講師、朝倉市男女共同参画審議会会員。福岡大学大学院法学研究科博士。



【男女共同参画と災害・復興ネットワーク事務局】

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8

日本女子会館6F オフィス We Learn 内

URL:<https://jwndrr.org/>